



ユニチカ株式会社

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算の概要

2025年11月11日

- 1 2026年3月期 中間期決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2026年3月期 通期業績予想**

2026年 3月期 中間期実績

- 》食品包装用途の販売は前年並みに推移。電子材料分野や生活資材用途を中心に販売は増加。各製品で価格改定を実施し、売上高は621億円（前期比+6億円）となった。
- 》不採算販売の見直し、製品価格改定、経費削減などのコストダウン施策の効果に加え、高収益品の販売が堅調に推移したことより、営業利益は56億円（前期比+34億円）となった。
- 》事業譲渡等の契約締結により、現時点で今後発生が見込まれる事業構造改善費用76億円を特別損失に計上。この結果、親会社株主に帰属する中間純損失は35億円（前期比+64億円）となった。

2026年 3月期 通期業績予想

- 》2025年3月期決算においては、構造改革対象事業における事業譲渡等が確定していないことなどから、合理的な業績予想の算定が困難なため、連結業績見通しは未定としていた。
- 》事業撤退の範囲と時期に関する見通しが明らかになりつつあることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期連結業績予想を算定した。
- 》売上高は1,100億円、営業利益は75億円、経常利益は60億円。当期純利益は現時点では合理的な算定が困難であるため未定。

売上高

621億円 (前年同期 616億円 / 前年同期比 +6億円)

食品包装用途は食料品等価格上昇の影響を受けたが、好調なインバウンド需要もあり、販売量は前年並み。電子材料分野や生活資材用途を中心に販売量は増加。不採算販売の見直しや各製品の価格改定の効果により、前年同四半期比1.0%の増収。

営業利益

56億円 (前年同期 22億円 / 前年同期比 +34億円)

高収益品の販売が堅調に推移。不採算販売の見直しや価格改定の実施、コストダウン施策の実行により、前年同四半期比152.7%の増益。

経常利益

48億円 (前年同期 12億円 / 前年同期比 +37億円)

金利上昇に伴う支払利息の増加はあったが、営業利益の増加、為替差損の減少により、前年同期比319.5%の増益。

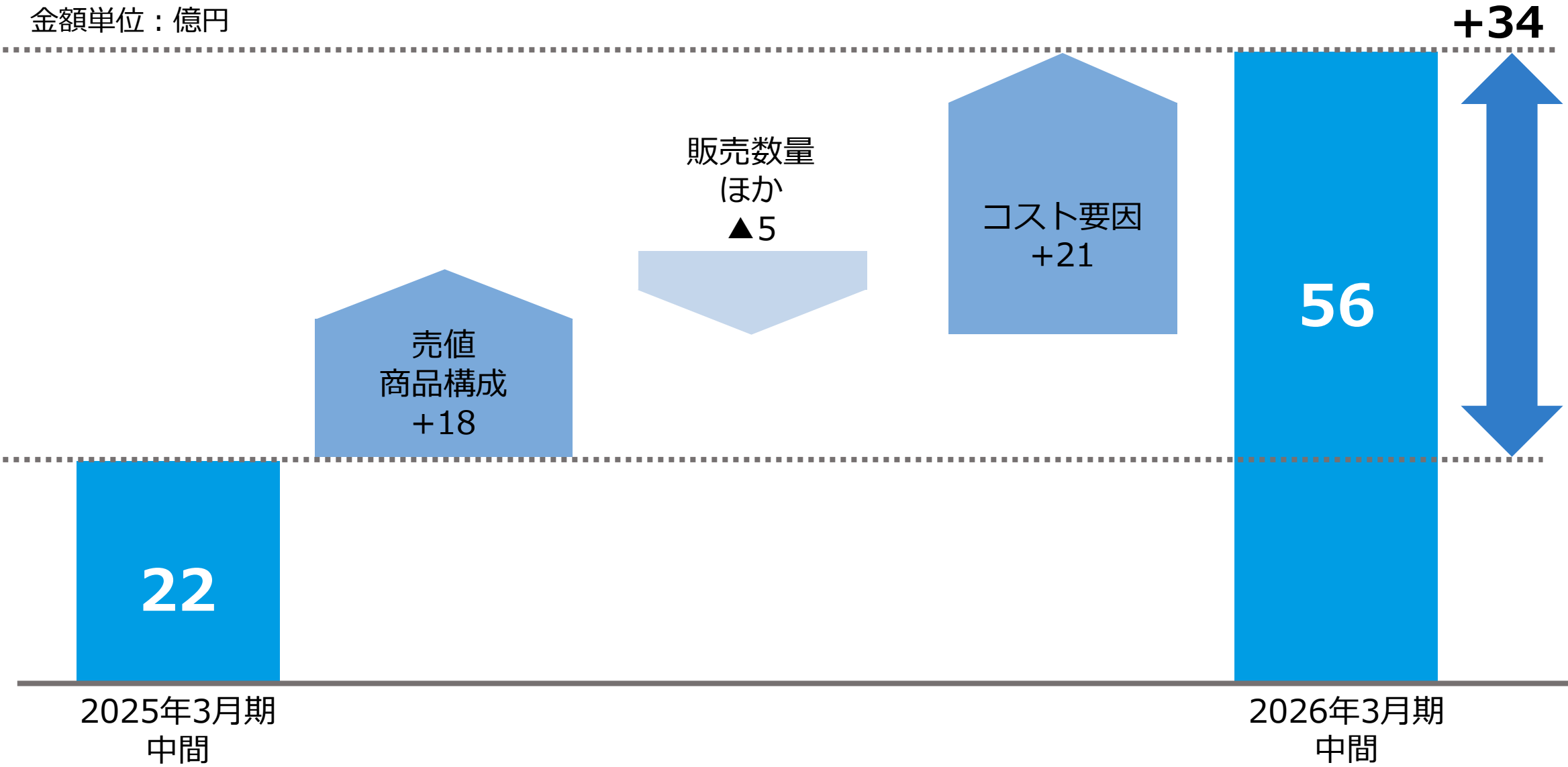
親会社株主に
帰属する
中間純損失**▲35億円** (前年同期 ▲98億円 / 前年同期比 +64億円)

事業譲渡等の契約締結により、現時点で今後発生が見込まれる事業構造改善費用76億円を特別損失に計上。

連結合計 (単位：億円)	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	前々期比	前期比
売上高	580	616	621	+41	+6
売上総利益	89	123	153	+63	+30
営業利益	▲18	22	56	+74	+34
営業利益率	(▲3.1%)	(3.6%)	(9.1%)	—	+5.5%
経常利益	1	12	48	+47	+37
特別利益	0	2	1	+1	▲1
特別損失	3	109	80	+77	▲29
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲4	▲98	▲35	▲31	+64
減価償却費*	27	24	14	▲13	▲10
設備投資*	34	18	13	▲21	▲5

* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



(金額単位：億円)	2025年 3月末	2025年 9月末	前期末比 増減
資産合計	1,494	1,730	+236
流動資産	753	994	+242
固定資産	742	735	▲6
負債合計	1,332	1,409	+77
純資産合計	162	321	+159
株主資本	123	292	+169
その他の 包括利益累計額	33	27	▲6
非支配株主持分	7	2	▲4

(金額単位： 億円)	2025年 3月期 中間実績	2026年 3月期 中間実績	前年同期比 増減
営業活動CF	49	56	+6
投資活動CF	▲19	10	+29
財務活動CF	▲2	197	+199
(金額単位： 億円)	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
現金・現金 同等物残高	132	391	+259

投資CF：固定資産売却代金の計上 + 22億円

財務CF：C種種類株式の発行 + 199億円

セグメント別 (金額単位：億円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前期比増減	
			金額	率
売上高	616	621	+6	+1.0%
高分子事業	281	284	+3	+0.9%
機能資材事業	184	190	+7	+3.7%
繊維事業	150	147	▲4	▲2.5%
その他	0	1	+0	+52.7%
営業利益	22	56	+34	+152.7%
高分子事業	27	50	+23	+84.2%
機能資材事業	2	9	+7	+442.8%
繊維事業	▲6	▲2	+4	-
その他	▲1	▲0	+0	-

金額単位：億円		2025年 3月期中間	2026年 3月期中間	増減
売上高		281	284	+2
	フィルム	178	164	▲14
	樹脂	69	71	+3
	他	35	49	+14
営業利益		27	50	+23

フィルム事業

包装用フィルムは、食料品等の価格上昇の影響を受け販売は微減。工業用フィルムは電子材料関連で販売が好調を維持。海外においては、安価製品との価格競争により販売面で苦戦、不採算銘柄の撤退により販売量は減少したが、日本市場向けへのシフトとコスト削減により収益は大幅に改善。

樹脂事業

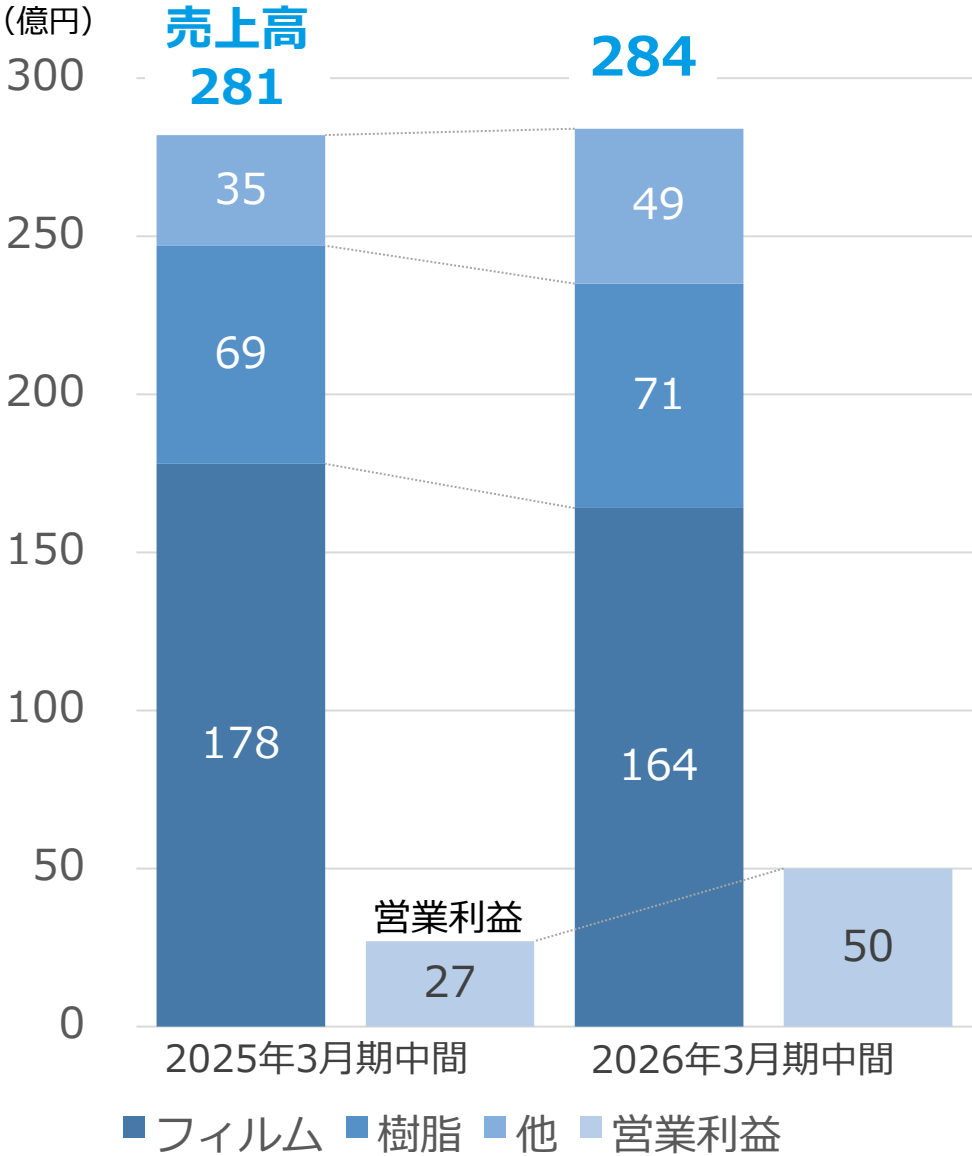
エンブラは電気・電子部品用途が好調に推移し、販売が伸長。機能樹脂は半導体関連に用いられる特殊素材の出荷低調の影響を受け、販売がやや減少。

他事業

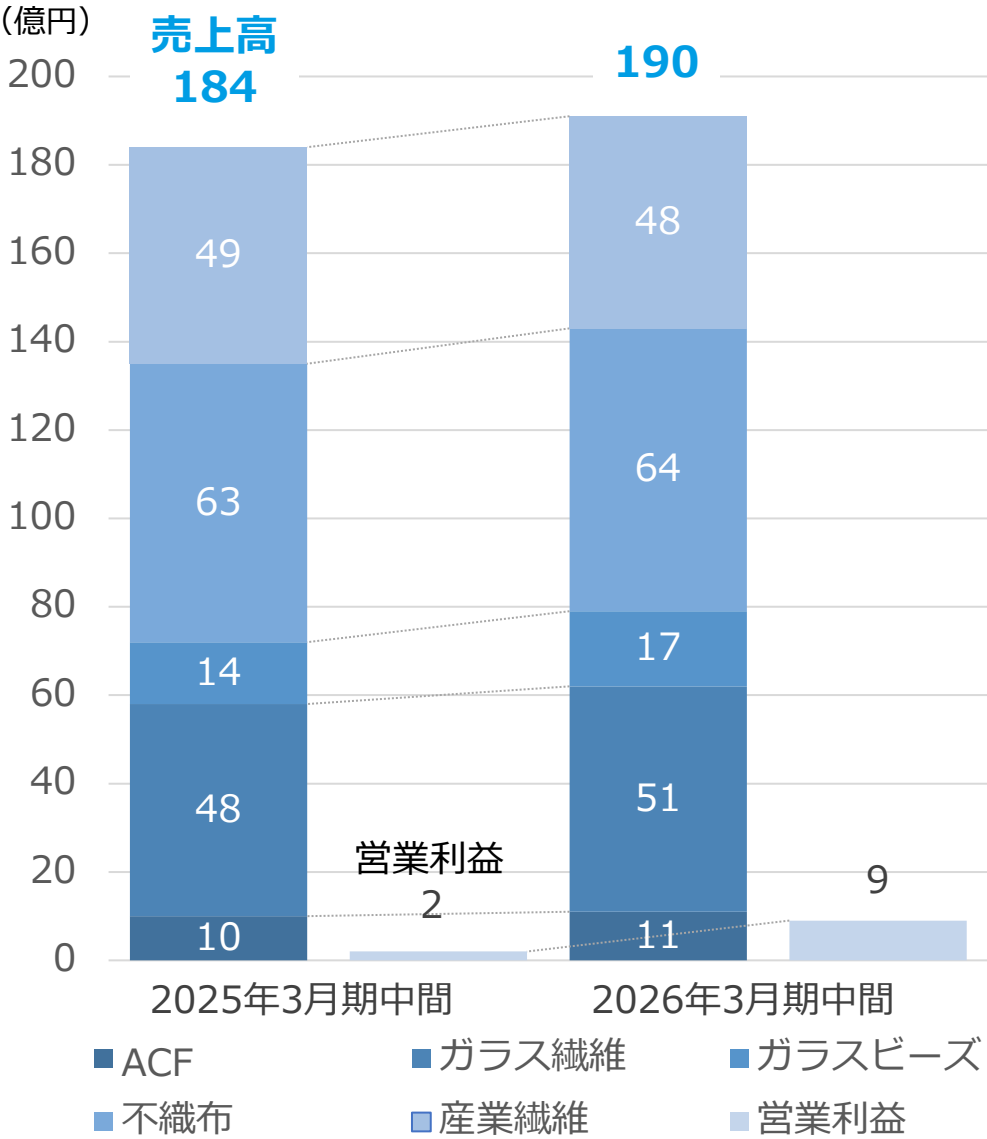
U上海の販売が好調。特にハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売が伸長。

セグメント営業利益

不採算販売の見直し、販売価格の適正化、コストダウン施策の効果により収益が大幅に改善した。



金額単位：億円		2025年 3月期中間	2026年 3月期中間	増減
売上高		184	190	+7
	活性炭繊維 (ACF)	10	11	+2
	ガラス繊維	48	51	+3
	ガラスビーズ	14	17	+3
	不織布	63	64	+1
	産業繊維	49	48	▲2
営業利益		2	9	+7



活性炭繊維（ACF）事業

空気浄化用途のVOC除去用シートの販売が低調であったが、主力の浄水用途の販売は堅調に推移したことで売上高は増加。

ガラス繊維事業

産業資材分野は建築資材用途のテント・シートなどを中心に堅調に推移。環境エネルギー分野、電気電子分野も堅調に推移。電子材料分野は、ハイエンド携帯端末向けモバイルメモリ用途の超極薄低熱膨張ガラスクロスおよび超極薄Eガラスクロスの販売が好調に推移。

ガラスビーズ事業

道路用途は工事件数減少の影響で販売の減少は継続。工業用途は販売が堅調に推移。反射材用途では海外での販売が大幅に伸長した。

不織布事業

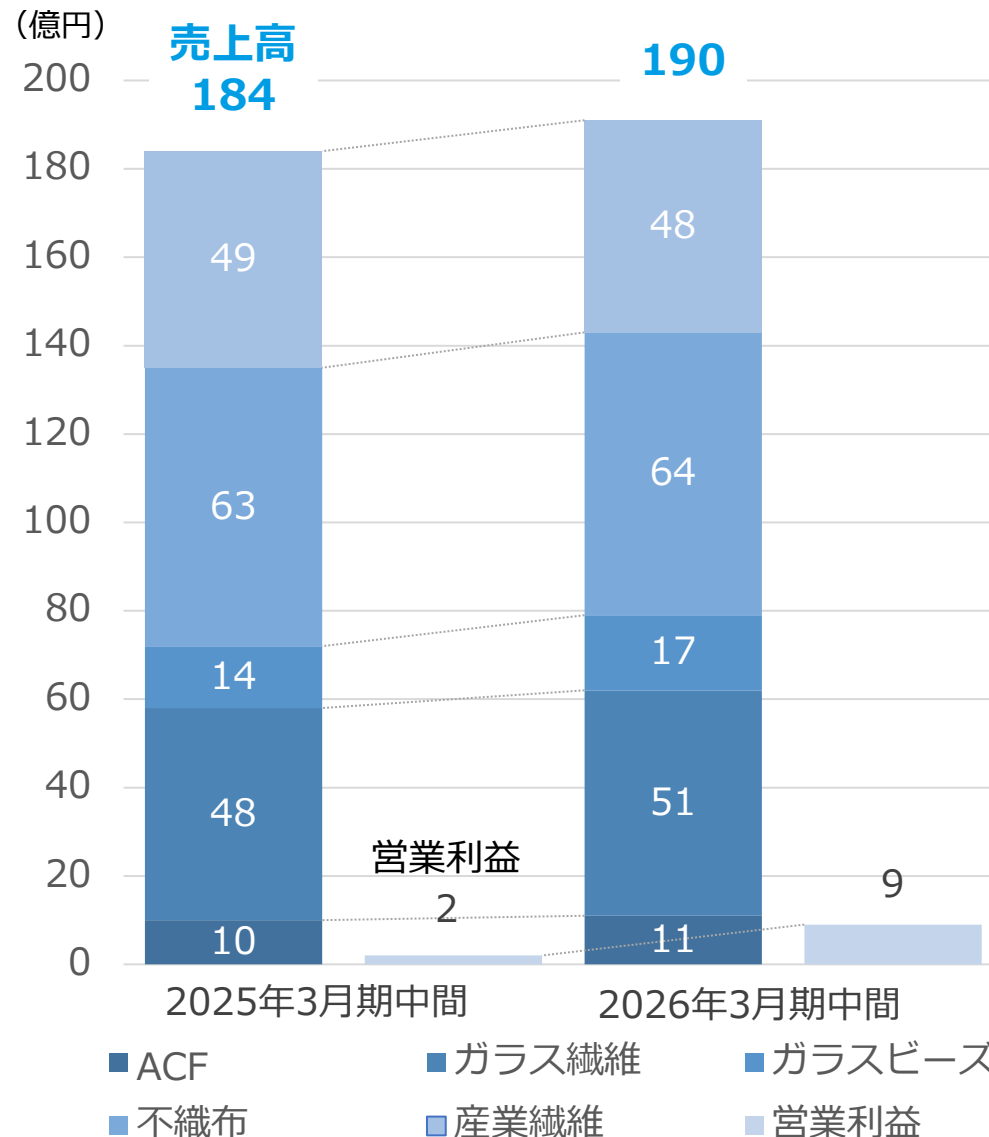
спанボンド不織布はインフラ資材を中心に堅調に推移。コットンспанレースは、猛暑の影響により制汗シートが好調を維持し、生活資材用途で販売が大幅に伸長。

産業繊維事業

ポリエステル短繊維およびポリエステル高強力糸の販売は減少。モノフィラメントの収益は好調に推移。

セグメント営業利益

販売価格の適正化効果と不採算販売の見直しにより収益が改善。コストダウンの効果も合わせて、セグメント全体で増益。



金額単位：億円		2025年 3月期中間	2026年 3月期中間	増減
売上高		150	147	▲4
	衣料繊維・他	150	147	▲4
営業利益		▲6	▲2	+4

衣料繊維事業

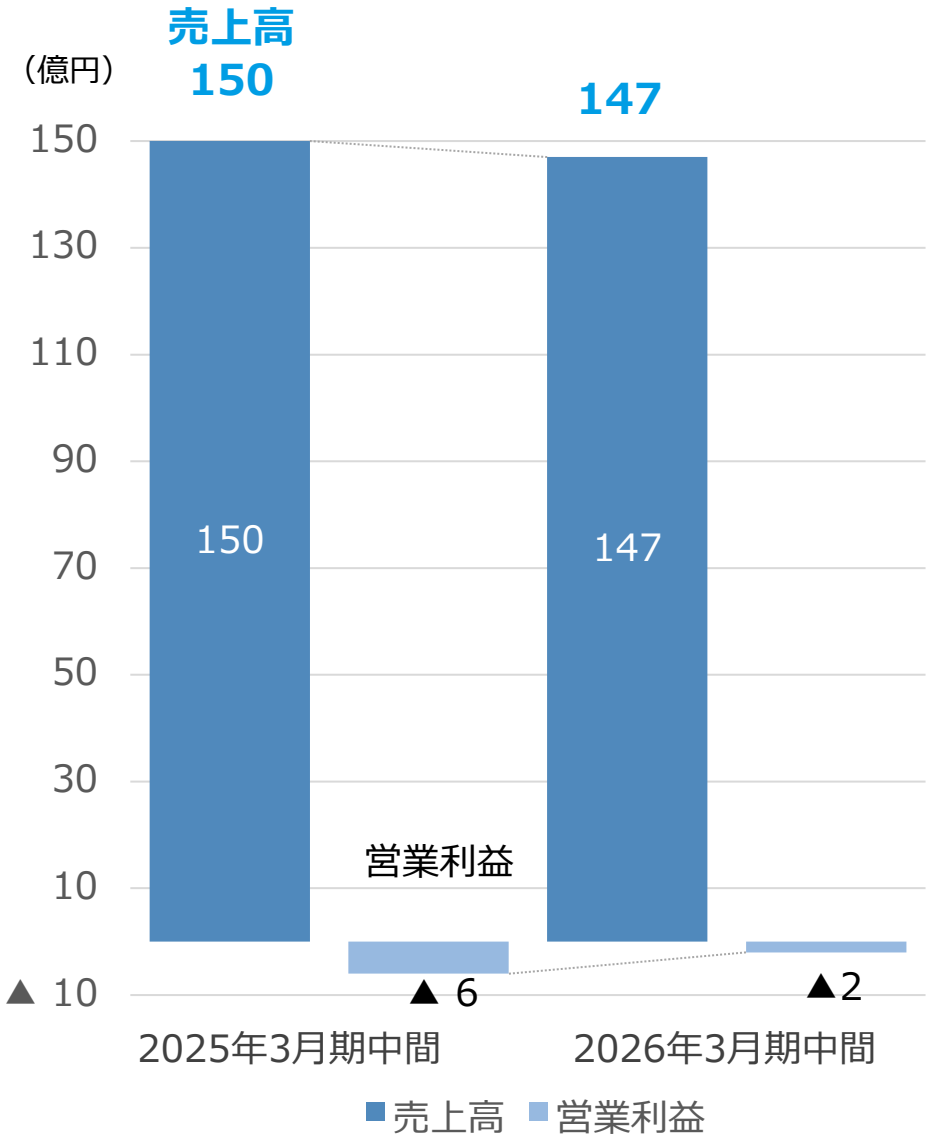
ユニフォームの販売は官需を中心に堅調に推移。一般衣料、寝装、スポーツ衣料分野は期間を通じて需要が低迷し、販売は減少。

産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は市況の回復を受け、土木資材用途や生活関連用品での販売が好調に推移。

セグメント営業利益

不採算販売の見直しをはじめ、販売価格の適正化とコストダウン施策により増益。



(金額単位：億円)	2025年 3月期実績	2026年 3月期予想	前期比 増減	2026年 3月期 中間実績	対予想 進捗率
売上高	1,264	1,100	▲164	621	56.5%
営業利益	59	75	+16	56	75.3%
経常利益	47	60	+13	48	80.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲243	未定	－	▲35	－

※業績予想の前提

為替レート (円/米ドル)	原油価格 (ドル/バレル)
145	70

(金額単位：億円)		2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q
売上高		279	301	285	318	307	309	320	329	309	312
	高分子	127	133	125	126	141	140	141	132	139	144
	機能資材	79	86	85	92	93	91	92	95	96	95
	繊維	73	82	75	101	72	78	87	102	73	73
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		▲7	▲11	▲8	1	12	11	21	16	28	28
	高分子	2	▲1	1	4	15	13	18	15	23	27
	機能資材	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0	2	3	▲1	5	4
	繊維	▲2	▲3	▲3	2	▲2	▲3	0	2	1	▲2
	その他、連結調整	0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)		2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q
高分子		127	133	125	125	141	140	141	132	139	144
	フィルム	85	84	82	85	90	88	82	84	84	80
	樹脂	32	32	35	35	34	34	35	35	36	35
	その他	11	17	8	5	17	18	24	13	20	29
機能資材		79	86	85	92	93	91	92	95	96	95
	ACF	5	5	5	5	5	5	5	6	5	6
	ガラス繊維	20	23	23	24	24	24	23	22	23	27
	ガラスビーズ	6	6	7	8	8	6	7	7	8	9
	不織布	26	28	28	31	30	32	35	34	33	32
	産業繊維	23	23	22	24	26	23	23	25	27	21
繊維		73	82	75	101	72	78	87	102	73	73

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。